## 松本市西部地域における地域公共交通活性化・再生総合事業(調査事業) 「将来に安心して暮らせるまちづくり」を目指して

# 松本市西部地域公共交通総合連携計画策定調査の必要性

合併により拡大した市域に対応し、交通空白地域の解消と効率的な公共交通手段を確保するため、既存の公共交通機関を最大限に活用しことを前提に、実現性の高い新交通システム(総合連携計画の策定)の構築を目指します。

## 松本市西部地域公共交通協議会

松本市、JR東日本、松本電鉄(株)、松本地 区タクシー協議会、各地区町会連合会、中信 地区高等学校校長会、長野県、松本警察署、 道路管理者、長野運輸支局、有識者他

# 総合連携計画策定調査実施計画の概要

## 1)調査の内容等

- ①総合連携計画の策定に必要な調査
  - •交通環境調査
  - ・交通空白地域の実態調査
  - ・住民アンケート調査(2回) 調査対象:地域内の25,000世帯
  - •住民との意見交換会

## 2)新交通システム試験運行調査

コミュニティバス方式で

4路線を1ヶ月間運行

実証運行等を適正な規模、運行形態で実施するのに必要な基礎データを調査・収集することを目的とした試験運行

#### 事業者•行政 地域住民 ◆地域の移動手段の ◆住民自らが、使い易 確保 く、持続可能な交通シ 計画事業の実施 ステムに育てる仕組み ・コミュニティバスな ど新しい公共交通 ・計画(P)から、運 サービスの提供 ・脱車社会への取組み 営(D)、検証・評価 康 環境負荷の軽減 ◆乗り継ぎの改善 (C)、見直し(A)に 弄 ・市民歩こう運動 よる事業の推進 ・鉄道駅など、既存の公 -ノーマイカー運動の実 共交通機関との交通結節 伸 の整備・改善 都 ・P&R駐車場等の整備 相互の連携とサポート 住民自らの意識と行動の変容 ハード的な整備 目標と利用者負担等の明確化 利用促進 事業主体:松本市西部地域公共交通協議会